

## 「森町公共交通シンポジウム・ワークショップ」開催概要（案）

### 1 実施の目的・趣旨

森町における公共交通の利用状況は低迷しており、町民の公共交通に対する意識醸成を目的としたシンポジウム及び町民が使いたいと思える公共交通網の構築に向けたワークショップを開催する。

ワークショップの実施により、各地区の町民から、より具体的な公共交通に対する意見を伺い、今後の計画の作成に向けた基礎資料とする。

また、シンポジウムを通じて、昨今の公共交通状況について、講演者から情報提供を行い、町内公共交通の維持に向けた町民の意識醸成を図る。

### 2 実施内容

◎「森町公共交通シンポジウム・ワークショップ」の開催

(1) 日時 令和3年9月頃を予定

(2) 場所 50名程度が収容できる施設

(3) 内容

①開会

②各種調査結果(アンケート調査、乗降調査、関係者ヒアリング調査)の概況説明、課題に対する対応方針(案)の説明

・公共交通会議事務局による説明

③講演(1時間程度を想定)

・特定非営利活動法人まちづくり支援センター 為国 孝敏 代表理事(森町地域公共交通会議オブザーバー)による講演

④住民ワークショップ(1時間30分程度を想定)

・公共交通会議事務局がファシリテーターとして、各テーブル(5テーブル程度を想定)で進行  
・各テーブルでの議論内容の発表後、為国氏より総評

⑤閉会

(4) 対象 森町内居住者及び近隣自治体に属する公共交通担当者

### 3 ワークショップ実施イメージ

・町内5地区から5名程度の参加を募り、1地区1テーブルで議論を実施

・為国氏以外にも、交通事業者等の関係者の参加も検討

・テーマとして、「シンポジウムの講演を聞いた感想」、「使いたいと思える公共交通について」、「公共交通網の構築と併せて実施してほしい利用促進策」等を設定

・各テーブルの議論内容について、参加者から発表を実施

・各テーブルの発表内容を踏まえ、為国氏より総評